

頌徳会グループのご案内 (令和元年6月1日現在)

診療	診療時間帯	予約制	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00 ~ 12:00	—	●	●	●	●	●	●	専門診療科と連携しつつ総合的な視野で診療を行っています 訪問診療も対応しています
	午後 14:00 ~ 16:00	—	—	—	●	—	—	—	早期診断から合併症までの治療を行っています。
糖尿病内科									
脳神経外科									脳神経全般に関する診断から治療までを行っています MRIによる検査も受付けています
整形外科	午前	—	●	●	●	●	●	—	レントゲン・CT・MRI撮影などにより診断・治療を行っています
	午後	○	—	—	●	—	—	—	
外科・形成外科									小さな外傷や皮膚腫瘍等の診療を行っています
神経内科									訪問診療(脳梗塞等)も対応しています

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
内科	午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	一般内科の他、循環器、呼吸器疾患を主に診療しており、 胃カメラ、超音波などの検査が可能です
	午後 13:30 ~ 16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	●	●	●	—	●	—	
整形外科	午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	レントゲン・CTなどを利用して総合的に診断しています
	午後 13:30 ~ 16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	●	●	●	—	●	—	
リハビリテーション	午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	理学療法士によるリハビリテーションを行っています (受け付けは、終了時間の30分前までとなっています)
	午後 13:30 ~ 16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	●	●	●	—	●	—	
皮膚科	午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	皮膚疾患の他、膠原病、リウマチ疾患も診断しています
	午後 13:30 ~ 16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	●	●	●	—	●	—	
アレルギー科	午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●	乳児の食物アレルギーも診断しています (土曜日は第1・3・5週に診療を行っています)
	午後 13:30 ~ 16:30	—	—	—	—	—	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	●	—	●	—	●	—	
形成外科	午前 9:00 ~ 12:00	●	—	●	—	—	—	水曜日午後診のみ予約制で手術を行っています ほくろ・脂肪腫・ひきつれ等以外にも様々な疾患を取り扱って いますので、ご相談ください
	午後 13:30 ~ 16:30	●	—	●	—	—	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	—	—	—	—	—	—	
禁煙外来	午前 9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	—	保険診療による禁煙治療を行っています 初診の方は午前のみ診療を行っています
	午後 13:30 ~ 16:30	●	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	●	—	●	—	●	—	
腎臓内科	午前 9:00 ~ 12:00	—	—	●	—	●	—	腎臓病と腎臓病に付随する疾患の診断と治療を行っています (完全予約制)
	午後 13:30 ~ 16:30	—	—	●	—	●	—	
	夜間 17:30 ~ 19:30	—	—	—	—	—	—	

診療	診療時間帯	月	火	水	木	金	土	備考
早朝透析	6:00 ~	—	●	—	●	—	●	無料送迎バス完備
午前透析	8:30 ~	●	●	●	●	●	●	
午後透析	~ 17:00	●	●	●	●	●	●	
夜間透析	~ 22:00	●	—	●	—	●	—	

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ	堺市東区北野田636番地	TEL 072-235-5800	● 入所・ショート(短期入所):150名	● デイケア:100名
介護老人福祉施設 ソルメゾン	堺市東区菩提町2丁62番地1	TEL 072-288-2008	● 入居:80名/ショート(短期入所):20名	● デイサービス50名
おひさまケアプラセンター	堺市東区北野田626番地	TEL 072-235-7722	【ケアマネージャーが要介護認定の申請代行等、介護サービス 利用のお手伝いをします】	

★最新情報をホームページ <http://www.syo.or.jp/> に掲載しています。ご見学、ご相談など随時承っておりますので、お気軽に各施設までお問い合わせください。

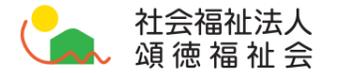
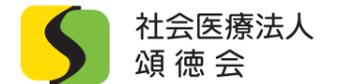


地球環境保護のため、この印刷物はベジタブルインクを使用しています。
また、有害廃液を出さない水なし印刷方式で印刷しています。

頌徳会・頌徳福祉会と地域を結ぶ情報誌

ひだまり

2019
夏号
Vol.11 No.48



日野病院
日野クリニック
介護老人保健施設 ソルヴィラージュ
介護老人福祉施設 ソルメゾン

頌徳会グループ広報誌「ひだまり」2019 夏号 Vol.11 No.48

発行/社会医療法人 頌徳会 総務部

★ご希望の方に無料配布します

デザイン/so much



CONTENTS

- 2 特集
目標指向的アプローチの実践
- 4 頌徳会グループお役立ち情報
- 7 理事長コラム
- 8 頌徳会グループのご案内

おかげさまで
頌徳会グループ創業



第2弾 目標指向的アプローチの実践 ～頌徳会グループの取り組み～

前号(春号)の特集に続き、お一人おひとりの生き甲斐に沿ったアプローチ(目標指向的アプローチ)を目指して、頌徳会グループ内で行っている様々な取り組みをご紹介します。



①【日野病院】リハスタッフの新卒入職者研修プログラムに「訪問リハ」を導入

リハビリテーション室では新卒入職のリハスタッフを対象に、研修の一環として訪問リハビリテーションを導入しています。実際に、先輩スタッフに同行し、患者さんのご自宅を訪問することで、その方の生活環境を知り、個々に応じたリハビリテーションについて理解することを目的としています。

【訪問リハ研修を終えて】

- 今までは、退院後の生活に即したリハのイメージが漠然としていましたが、訪問リハ研修を経験して、生活される環境によってリハの目的や内容が変わってくると思いました。
- カルテの見方が変わりました。今までは病状や現在の状態ばかり見ていましたが、ご自宅の環境や目標を見て、その方の退院時の理想的な状態を考えるようになったり、ご本人の思いや目標を聞き出せるようコミュニケーションをとる努力をするようになりました。



②【日野病院】リハスタッフ増員による外来リハ・訪問リハの体制強化

4月より新卒職員採用等によりリハスタッフを増員し、通院での外来リハビリテーションや訪問リハビリテーションを強化しました。

日野病院では、退院後も心身の機能回復と日常生活の自立、さらには、生きがいや役割を持って社会に参加いただけるように支援しています。



▲カタログを見ながらアドバイス

③【日野病院】患者さん・ご家族のご希望に沿った栄養指導の実施

日野病院栄養課は、管理栄養士を5名配置し充実した体制で、退院前の患者さんに対し、個々の病状や食習慣を踏まえた上で、退院後の食生活について患者さんに寄り添った栄養指導を心掛けています。

症例 男性 90歳

- 病状：誤嚥性肺炎
- 嚥下状態：スプーンでつぶせる硬さの物は食事可能
- ご家族の状況：長男家族と同居、長男はお惣菜屋経営
- ご家族の希望：食欲旺盛なので、見た目も味も良いものを食べさせたい
誤嚥性肺炎に気をつけて安全なものを食べさせたい

実施内容

- ご家族 ムース食の購入を検討
- 管理栄養士
 - 口腔機能に合った食事の提案と予算に応じた飲み物などのとろみ剤の提案
 - とろみのつけ方の指導
- ご家族 父の形態にあったムース食を選んでいただいたり、とろみの適した固さがわかり安心して家で食事をさせられます。

④【ソルヴィラージュ】自立を促すための高品質・快適なおむつ「テーナ」の導入



日野病院・ソルヴィラージュでは、その人らしい暮らしを送っていただくための排泄ケアを目指し、リース等に使用している紙おむつを、福祉先進国スウェーデン生まれの「テーナ」に変更しました。今後ソルメゾンでも変更が決定しており、グループ全体で患者さん・ご利用者の排泄ケアに取り組んでいます。

テーナの特長

- ✓大きな吸収量で朝まで安心
- ✓長時間の着用でも肌に優しく、かぶれにくい
- ✓着脱が簡単
- ✓排尿の有無が分かる交換表示ラインつき
- ✓排泄パターンに合わせておむつのタイプ選択

テーナと一般的なおむつとの比較を、実際に着用した写真でご覧ください。

テーナ

一般的なおむつ

後ろから見たところ

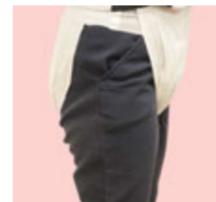


テーナ ✓パンツをつけているかのようにすっきり

一般的なおむつ ✓厚みやもたつきあり

吸収量が多くても、テーナはパットいらず、1枚づつで着用し不快感なし

横から見たところ



テーナ ✓サイドにアキあり

一般的なおむつ ✓サイドにアキなし

締めつけがなく、足を自由に動かすことが可能→寝たきり防止・リハによる歩行が可能

【ソルヴィラージュの取り組み】

- 排泄委員会による定期的な勉強会開催
- テーナのあて方指導者「テーナマイスター」育成により、介護職員のモチベーションアップを図る。

尚、ご自宅でもご使用いただけるよう当会グループホームページの日野病院とソルヴィラージュサイトに、「テーナの使い方(あて方)の動画」を掲載しています。

◆日野病院 <https://www.syo.or.jp/hospital/> ◆ソルヴィラージュ <https://www.syo.or.jp/solvillage/>

最後に、退院された患者さんからのお手紙をご紹介します。

日野病院に転院して約3ヶ月、先生や看護師さん、リハビリテーションの先生方には大変お世話になりました。

始めは車いすでの生活で、手術した方の足がまるで他人の足のように自由に動かすこともできずにいて、悲しく思っていたのですが、先生や看護師さん、リハビリテーションの先生の優しい言葉に励まされて、杖なしで歩けるようになり、感謝しています。

元の生活に戻れるようにと、通勤経路の練習や、帰ってからの生活に困らないように、色んな動きをシュ

ミレーションして一緒に考えて工夫してくださったり、素人の質問にもわかりやすく答えて説明してくれたり、ありがとうございます。長い入院生活でしたが、有意義に楽しくすごすことができました。

帰ってからの生活に一抹の不安もありますが、教えていただいた自主トレ、痛くなった時のストレッチをしながら、治していただいた足を大切にしていきたいと思っています。

本当にありがとうございました。



第5弾

口腔ケアの取り組み



「いつまでも、美味しくお食事を召し上がっていただくために」をコンセプトに、日野病院での口腔ケアの取り組みをシリーズでお届けしています。今回は第5弾「NST委員会院内勉強会」についてご紹介します。

NST委員会では、毎月定期的にNSTメンバーのレベルアップ、メンバー間の情報の共有を目的に「院内勉強会」を開催しています。

今回は、歯科衛生士を中心に「効果的な口腔ケア」をテーマに勉強会を実施しました。内容としては、片麻痺の場合、服薬されている場合等口腔ケアを行う際に、配慮が必要な状態毎にケアの方法を学習しました。また、高齢者の口腔ケアで特にポイントとなる「乾燥対策」についても学習しました。

以下に「乾燥対策」についての学習内容をご紹介します。



乾燥対策

①水分補給

②マウススプレー、マウスジェルの使用

スプレーで口腔内に噴霧するか、ジェルを口腔内に塗り、乾燥を防止



③マスクの使用



④頭部後屈にならない姿勢

後屈位になると、口が閉じにくくなり、常に開口状態になって、口腔内が乾燥



⑤唾液腺マッサージ

高齢者の場合、唾液の分泌が減少することがあるので、唾液腺マッサージにより、口腔内乾燥を防止



◆糖尿病外来のご紹介

4月1日(月)より、杉本愛医師を迎え、糖尿病外来を開始しました。

早期に糖尿病を発見したい方、原因不明の体調不良などがある方はどうぞお気軽にご相談下さい。尚、日野クリニックでも、杉本医師による糖尿病外来を行っています。

診療時間帯	日野病院	日野クリニック
診療曜日・時間	水曜日 午後14:00～16:00 (予約制)	火曜日 午前 9:00～12:00 木曜日 午前 9:00～12:00



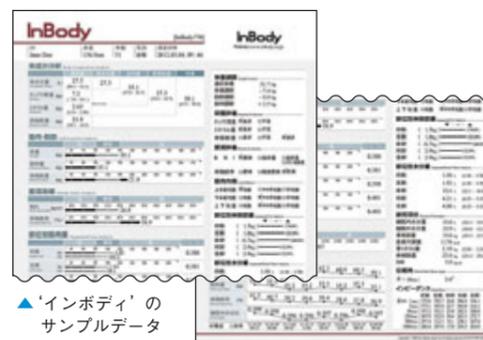
4月1日付で、日野病院に着任しました杉本愛と申します。平成10年に大分医科大学を卒業し、同大学の第一内科に入局、その後は約20年間大分県内の糖尿病診療と地域医療に携わってきました。平成29年に大阪に転居し、同年8月より日野クリニック、本

年4月より日野病院で診療を行っています。糖尿病の治療では、患者さん自身の食事や運動による取り組みが大切です。その取り組みのサポートと、患者さんの価値観、ニーズにそった治療を心がけています。どうぞよろしくお願いいたします。

◆第14回 東区民まつり開催、今年もたくさんの方に参加いただきました



▲今年は、体組成測定器「インボディ」も登場!



▲「インボディ」のサンプルデータ

日野病院は、地域の皆さんの健康生活支援を目的に、「東区民まつり」に参加しています。昨年は残念ながら雨に見舞われましたが、今年は晴天の中、多くの方に足を運んでいただきました。

恒例の骨密度測定「骨ウェーブ」は、毎年楽しみにされている方がたくさんおられ、ブース前には開始前から続々と来場されました。また、今回初登場の体組成測定器「インボディ」には、多くの方が興味を持たれ測定いただきました。

開催日 5月12日(日) 10:00～16:00
参加者 238名 (内男性60名、女性178名)
検査内容 骨密度測定、体組成測定

参加された方々の声

- (骨ウェーブを測定して)年齢よりも骨の成分がしっかりしていると言われて安心しました。まだまだ、長生きできるわね。
- (インボディを測定して)ちょっと筋肉量が少ないのが気になるので、さぼっていた運動を再開しようかな。

介護老人保健施設 ソルヴィラージュ

～旅気分を楽しみましょう!～ 映像レクリエーションのご紹介

ソルヴィラージュデイケアでは、新たなレクリエーション「映像レクリエーション」が、ご利用者の方々から好評です。

スタッフが、プライベートで訪れた場所の景色等をおさめた写真や動画を、モニターでご利用者の皆さんにご覧いただいています。

映像を「見る」「聴く」ことで、「考える」「思い出す」「新しく学ぶ」につながり、まさに「心のリハビリテーション」としての効果が期待されるレクリエーションです。ご利用者からは、「昔に行ったことがある、懐かしいわ」「きれいなところ、行ってみたい」等の感想をたくさんいただき、人気のほどが伺われるレクリエーションです。



今回は、竹田城で有名な兵庫県朝来市(あさごし)にある国内最大級のフィールドアスレチック「フォレストパーク」をご紹介します。森の中の木々を渡ったり、滑り降りたり…。ご利用者の皆さんは、まるでご自身が体験されているかのように「きゃー、高いわ」「めっちゃくちゃ気持ちよさそう」と大歓声。皆さん会話も弾み、笑い声の絶えない楽しい時間をすごしていただきました。



▲次々と登場するハプニングに皆さん大爆笑!



▼スタッフも体験した様子を一生懸命に伝えます



▲リハ室での第2デイケアの様子

日野クリニックリハビリテーション室は、4月1日(月)より、リハビリテーション室にて「第2デイケア室」を開設しました。

4月度の診療報酬改定で、介護保険者の医療保険による通院リハの上限日数が設けられました(疾患により90日～180日)。この第2デイケアの開設により、医療保険から介護保険への移行をスムーズに行うことができ、介護認定を受けている患者さんに、安心して治療を続けていただけます。



▲通所リハビリテーション「ソレイユ」

従来からの通所リハビリテーション「ソレイユ」との比較を下記の表でご確認ください。

	ソレイユ	第2デイケア
提供曜日・時間	月～土曜日 9:00～11:00 12:40～14:40 15:00～17:00	月～土曜日 13:00～14:10 14:20～15:30 15:40～16:50
定員数	各クラス20名	各クラス10名
提供内容 (1日の流れ)	①メディカルチェック→②準備運動(集団体操) →③マシントレーニング→④個別リハ→ ⑤クールダウン→⑥メディカルチェック	●個別リハビリテーション ●牽引等の物理療法
送迎	あり	あり



「桜が満開の時に来られてよかった」、「みんなで一緒に写真を撮りましょう」と、ご利用者同士の会話も弾み、笑顔いっぱいのお花見となりました。

真剣にお願い事、叶うといいですね▶



ソルメゾンでは、各フロアのユニットごとに「出雲大社(大阪分祠)」と「きゅうり公園」へお花見に出かけました。お天気にも恵まれて、咲き誇るたくさんの桜を楽しんでいただくことができました。

「出雲大社」では、皆さんお賽銭を入れ、熱心にお参りされていました。また、「きゅうり公園」では、池の周りで風に当たりながら、お花見を楽しまれました。

「桜が満開の時に来られてよかった」、「みんなで一緒に写真を撮りましょう」と、ご利用者同士の会話も弾み、笑顔いっぱいのお花見となりました。

今後もご利用者の方々の笑顔があふれるレクリエーションを企画してまいります



健康な時、人は他人と自分を比較します。ところが常に健康だとばかりは限りません。疾病にかかった時や、加齢によって身体の調子が悪いと心も減入ってしまいます。私たちは、このような精神・身体の「悩み」を持った人に手を差し伸べるのが仕事です。特に、超高齢社会を迎えて、加齢による精神身体変化に対処しなければなりません。「悩み」を解消し、「健康」になってもらうよう努めねばなりません。そのためには、納得のいくようなADLの獲得が重要になってきます。ADLとはActivities of Daily Living、すなわち日常生活動作のことです。衣食住のことだと考えてもいいかと思えます。これを全うすることがリハビリテーションの真髄です。

今回はわかりやすいので、「摂食動作」の一部である嚥下について書いてみます。嚥下は少し複雑な

「飲み込み」運動に支えられていますが、それが障害されているとむせたり飲み込めなくなったりします。

誤嚥性肺炎は高齢者の死因の第一位です。頌徳会でも「口腔ケア」を始めましたが、摂食はまさに命綱であって、障害を受けると命を失ってしまうほど大切なものです。日常の些細なこととして無視しがちなのが、「食べ物をむせずに食べる」ことですが、これが誤嚥性肺炎に深く関係していることを忘れてはいけません。今ではこの点に着目して、口腔ケアが充実しつつあります。定期的に口腔ケアを受けていると、口腔内が清潔になって嚥下障害の緩和が期待できます。

別のやり方として食事の工夫もあります。高齢者は栄養状態も良くありません。食べられる形態の美味しい食事を摂ってもらうことが大事です。全ての食事が完璧に栄養をコントロールされていると、簡単に改善します。すると、筋肉への栄養が十分補給され、筋力の低下が抑えられます。これはADLの改善につながります。「運動」すると空腹になり、食事がすすみます。結果、ADLが向上するという「良循環」に入るわけです。



堺市では、介護人材の確保及び育成や、介護サービスの質の向上のため「働きやすく魅力あふれる介護事業所」を表彰しています。今般、「法人ビジョン・理念の浸透」「従業員のモチベーションアップ」等全9つの観点において、ソルヴィラージュが平成30年度の優れた取り組みを行っている介護事業所として表彰されました。この表彰を励みに、地域に愛される施設として職員一同、ご利用者の皆さんの生活を支援してまいります。